

基本目標④：環境・都市計画・都市基盤整備

施策5：道路ネットワークの整備・交通安全の推進

施策目標

快適で安全に移動できる道路ネットワークが整備され、道路を使うだれもが交通安全を意識して行動しています。

現状・課題

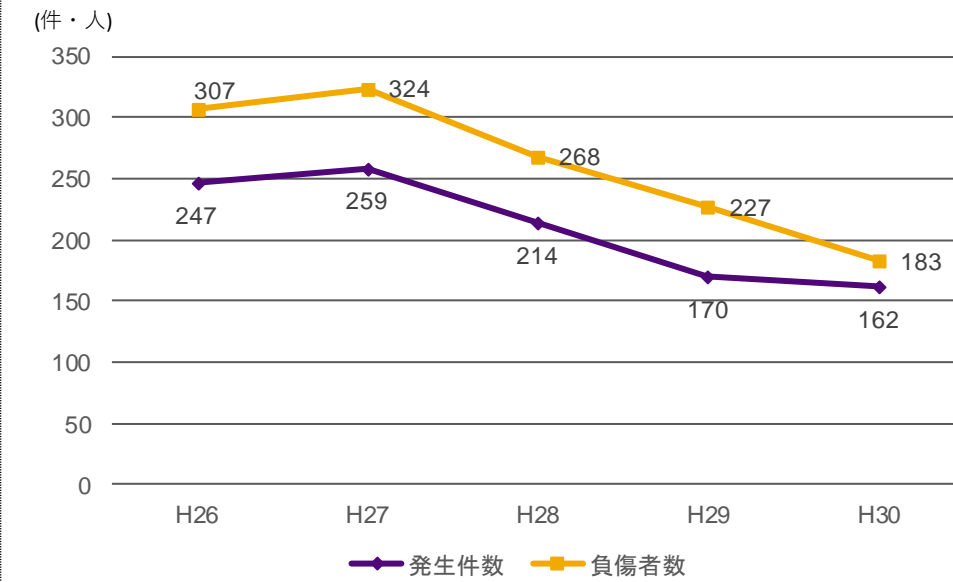
野洲市は、国道8号、477号等の道路が隣接市町に連絡しており、都市間の移動を支えているほか、県道、市道を中心に市内の交通流動を支えています。しかし、交通利便性の高い立地特性から交通量が多く、朝夕には渋滞が発生している箇所があり、渋滞を避けるための生活道路の通り抜けによる交通事故の危険性が高まっています。また生活道路については、幅の狭い箇所も多くあります。

現在進めているバイパス整備や幹線道路の整備を着実に進めるほか、さらなる道路交通ネットワークの向上と交通渋滞の解消を目指し、計画的に道路網の整備を進める必要があります。また、老朽化した道路・橋梁等の更新や、歩道の改良やバリアフリー化した道路整備など、歩行者・自転車・自動車が共に安全に移動できる道路環境の整備が求められます。

近年では、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、野洲市の特徴として高齢者の歩行者や自転車の交差点での出会い頭を原因とする事故が高い割合を占めています。道路の利便性が高まるほど、道路を使う人の数も増えることから、安全に配慮した道路整備の推進に加え、道路を使う一人ひとりが交通安全を意識して行動するよう警察、交通安全協会、関係団体が協力、連携して段階的かつ継続的に交通安全教育の開催、高齢者の免許の自主返納の推進、街頭啓発などソフト面の交通安全対策を強化していくことが求められます。

また、歩道の拡幅や、カーブミラー・標識等の交通安全設備の整備、通学路の点検やグリーンベルトの設置など交通事故防止のためのハード対策を進める必要があります。

■野洲市における交通事故発生件数



(資料) 平成30年野洲市統計書 (守山警察交通課提供)

取組方針

- ①円滑な移動を可能とする道路ネットワークの整備
交通渋滞の解消、さらなる移動利便性の向上のため、市民や市を訪れる人の移動ニーズを的確に捉え、適正な道路整備を進めます。
- ②誰もが使いやすく安全な道路環境の整備
バリアフリー等に配慮し、歩行者・自転車・自動車など、すべての人が安全に移動できる道路環境を整備します。
- ③交通安全の意識啓発の推進
道路の利用者が交通安全を意識し適正な行動を行えるよう、警察、交通安全協会、関係団体が協力連携して交通安全の意識啓発を進めます。

主な取組

- 道路ネットワーク整備の促進、交差点等の道路改修による渋滞対策、等
- 老朽化した道路・橋梁等の更新、交通安全設備の整備・更新、等
- 交通安全コンクール・交通安全教育・交通安全啓発の実施、等

指標

指標	現状値	目標値 (5年後)
①通勤時間帯における渋滞発生路線の数		
②交通死亡事故発生件数	99件	58件
③免許自主返納数	129件	150件

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)

関連する主な市の計画

- 都市計画マスタープラン
- 橋梁長寿命化修繕計画
- 交通安全計画